

1. 共著 貝澤、野中、中村編『再考 ロシア・フォルマリズム：言語・メディア・知覚』せりか書房、2012年（p. 110-126「言語と世界構成：ロシア宗教ルネサンスの言語論とフォルマリズム」）
2. 論文 「セルゲイ・ブルガーコフの経済哲学におけるマルクス主義とソフィア論」『スラヴ研究』64号、2017年、75-107頁
3. 論文 「全一体におけるイデア的なものと時間的なもの：セミョーン・フランクの『知識の対象』におけるフッサールとベルクソン」『スラヴ研究』62号、2015年、137-171頁
4. 論文 「持続の知性化とアンチ・プラグマティズム：セミョーン・フランクのベルクソン解釈をめぐって」『神戸外大論叢』第65巻 第2号、2015年、25-49頁
5. 論文 「象徴秩序の彼方へ：ベルジャーエフの思想における自由と人格の概念をめぐって」『スラヴ研究』60号、2013年、1-28頁
6. 論文 「ブルガーコフの言語哲学におけるカント批判のモチーフについて」『神戸外大論叢』第62巻 第3号、2011年、49-73頁
7. 論文 「ロースキーの直観主義とベルクソン哲学」『スラヴ研究』56号、2009年、37 - 62頁
8. 論文 「持続とイデア——ロースキーの形而上学におけるベルクソンとプラトン」『プラトンとロシアⅡ』、2007年、66-84頁